

みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)
自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738

2009年1月 No.35
日本共産党笠岡市議団発行
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax63-4164
携帯090-2862-4775

12月議会のご報告をお届けします



市長の笠岡市の人口減に歯止めをかけると称する人口増対策は、線引きを廃止し、企業誘致を図ること、あらたな補助制度を導入し、「日本のどこにもないものだ」と自画自賛してまで行なおうとしている地域開発であり、それを踏まえた定住促進。

鳴り物入りで立ち上げた施策も、時間を追う毎、市民はもちろんマスメディア、有識者からも多くの疑問の声が上がっている。

私は、全国的に言われている人口増対策は、新たな土地再開発と言う、ハード事業中心ではなく、少子化対策、子育て、福祉など、ソフト事業こそ大切にされるべきであると、一貫して述べてきたことを強調して4項目の質問をした。

「子供の医療費無料化対象年齢の引き上げ」について



先の知事選挙で、二人の候補者とも「子供の医療費を小学校卒業まで無料にする」と公約した。

今までの市長答弁、「県が改善すべき。県にお願いしてる」など踏まえれば、当然笠岡も急ぎ、子供の医療費を小学校卒業まで無料にすべきと思う。

12月15日現在、小学校卒業まで無料に願う1万1351名の署名を「住みよい笠岡をつくる会」が議長に提出した。市民の5人に1人が署名したことになる。

県の動向を見てなどと言わず、来年4月より小学校卒業まで医療費を無料にすると約束すべき。

元気な子供はだれもの願い。3ヶ月で1万1351名の願い署名に託す

今全国的に国民健康保険証を機械的に取り上げる実態が広がっている。笠岡市は、国民健康保険証が取り上げられ、資格証が発行された家庭は194世帯。うち子供のいる家庭は10世帯。資格証の発行を直ちにやめ、子供の医療費無料化年齢を引き上げ、子供たちが安心して病院に通える道を新たに開くことが大切。

この観点からも直ちに小学校卒業まで無料化すべき。

市長は「県の方針に基づき、就学前まで実施してる。市の最重要課題である定住対策の中で、子育て支援策をいろいろ考えている。現時点では、実施を考えていない」と答弁。

「学校教育にバスケット部の創設」を求めて

笠岡がバスケットボール会場となった国体後の議会、そして昨年度3月議会で、私は市内中学校にバスケット部の創設を求めて質問。



ダンクシュートはみんなのあこがれ。今や、野球、サッカーに次ぐ、第三のスポーツ

さらに市民からの投書を紹介し、4点質問。

- ① 東中以外の中学校に4月以降、バスケット部の創設は可能か？
- ② 希望の部活動のある他校へ希望入学は可能か？
- ③ 東中運動場にバスケ屋外スタンドの設置を。
- ④ 他県では生徒の減少などで、他校との合同チームも大会へ出場できるよう中学体育連

盟や、所属の協会が検討し、実施しているところもあるが、当市はどうか。

部の創設には、先生方の人数の問題など解決すべきことがある。先生方と協議し、各学校との合意を見ながらの発足が大切。国体のためのバスケットだったのかと言われたいよう、教育長、市長、今後の決意を聞きたい。

教育長は「市民、小中学生のアンケート調査で、バスケット、バレーに関心があることがわかった。来年4月より、東中以外でバスケット

水道料金の引き下げを求めて

2市1町が、水を購入している西南水道企業団から、新たに旧金光町が、水を購入するとしている。また金利の借り換えも可能。運営にゆとりができ、企業団が各自治体へ水を安く供給できる。

笠岡市は企業団より、水を安く買うことができ、市も金利の借り換えを行えば、市民に安く水を供給することが可能。市民の声に耳を傾け、水道料金引き下げの考えはないか。

2006年度3月議会で、市長は「笠岡は水道料金は高いが、下水道料金は県下で一番安い」と語った。「下水道料金が県下で一番安い。水道料金は高くても我慢しろ」と言わんばかり。

このたび市長は審議会の答申を受け約25%の下水道料金の引き上げ案を、H22年4月1日から実施したいとの考えを明らかにした。2006年度3月議会答弁との整合性をどのように考えればいいのか？

県下15市の比較をした。15市中、一番高い水道料金4074円に、2番目に引き上げられた下水道料金2940円を加えると、県下で最も料金の高い瀬戸内市の7087円とほぼ並ぶ7014円となる。

税金、諸物価の値上げで苦しんでいる市民生活に追い討ちをかけるようなもの。どのように考えるか。



部の創設に努力したい。部活留学は認めていないが、今後検討の必要があると思う。他校との合同練習、対外試合は考えなければならない。中体連と協議していきたい。東中の屋外スタンドは検討する」と答弁。又教育長は、「中学生は、心身の発達激しい重要な時期。必要なものは実現に向け努力したい。」市長は「教育はきわめて重要な行政課題。委員会の意見を聞き、協議し対応したい」と決意を述べた。



署名の願いは一つの値下げ《水道料金》、一つの値上げ《子供医療費補助》。どちらを選びますか？全市民水道料金の引き下げ？一部市民個人住宅100万円の援助と企業に大幅援助？

市民に負担を押し付け、市民合意の得られない下水道料金の引き上げには、理由はどうあれ、基本的に反対。ましてや平均25%にも及ぶ下水道料金の引き上げ提案はとんでもない。どうしても引き上げを行なうのなら、市民にもっと意見を聞き、市民合意が得られる引き上げ幅にすべき。

水道料金を引き下げ、水道料金、下水道料金を合計したものを現状より安くするなど、市民生活・市民感情を考えに入れた料金に考えなおすべきではないか。

「住みよい笠岡をつくる会」が、水道料金の引き下げを求め、12月15日現在、1万1351名の署名を議長に提出している。市民の5人に1人が署名した数になる。この声に真剣に耳を傾けるべき。

市長は「値下げできる条件ができるよう懸命に努力してる。累積欠損金の解消、大規模補修、災害費用などの資金の備えができてない。原水費（西南水道企業団から購入する水の料金）の値下げなどがあれば、引き下げの検討をしなければならない。」と答弁。

市内小中学校における不登校生の指導について

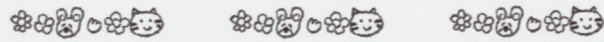
大人も子供の悩みを知ってほしい。そして手を差し伸べてほしい。



文部科学省の調査で、2007年度の小中学校における不登校の子供は全国で約13万人、毎年増えていることがわかった。

笠岡の現状はどうか。また、その子たちに、どのような指導が行なわれているのか。特に中学3年生は、進路が関わる。就職、進学、進路指導について質問。

不登校の子供を持っている親は、「私らの言うことはわがままかもしれないが、学校には、親の気持ちを理解してもらえない。」と口々に



言っている。特に小学校6年生、中学校3年生の不登校の子供を持つ親は不安。「学校は親に対して対応がヘタだ」などの声も聞く。親にも学校に不信感を持たれないよう、十分な進路指導を行なってほしいと願うもの。(質問時間が足りず、質問内容を一部加筆しました。)

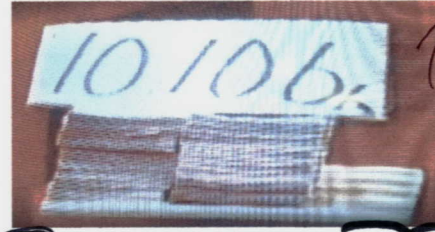
教育長は、「学校相談室、教育相談室、スクールカウンセラー等関係者と連携し、状況によっては家庭訪問を含めて対応している」と答弁した。



「住みよい笠岡をつくる会」の署名運動

「水道料金の引き下げ、子供の医療費無料化年齢を小学校卒業までに拡大してほしい」と願う署名がこの議会に提出された。

水道料金の引き下げを審議する建設産業委員会は、委員の発言を十分に保証せず、論議もなまなまいきなり継続審議とした。子供の医療費無料化対象年齢を小学校卒業まで拡大を審議する環境福祉常任委員会は、若干の意見の交換



後日245名の追加で、1万1351名と133

この声を届け、請願採択を願おう

はあったが、市民の願いを議論で深めるまでにはならず、継続審議となった。

提出された署名は1万1351名。市民の5人に1人の署名となる。市民の願いをどのように考えているのか。

あしあ と

- 10/11 婦人会研修会
- 10/18 生江浜祭り婦人会「おでん」
「住みよい笠岡をつくる会」第5回集会
- 10/19 北木島で「みちこだより」配布
- 10/25 金浦保育園運動会
- 10/27 小北中学組合議会
- 10/31 駅前地区署名のお願い
- 11/1 どんぐり祭り(笠岡学園)お手伝い
- 11/2 農業祭
- 11/6・7 オープンスクール(金小・金中・神島外小・〃中・神島小・東中中央小・西中・城見小・陶山小)



11/8 金小 学芸会



笑顔、笑顔、途切れぬ笑顔

11/8 「住みよい笠岡をつくる会」とスーパー前で街頭署名



思いを届けよう、水道料金の引き下げ 子供の医療費無料化年齢拡大

- 11/10 富岡地区で署名集め
- 11/13 「木之子荘」でボランティア
- 11/15 同窓の友人と直島へ
- 11/16 いちよう祭り、署名集め
「住みよい笠岡をつくる会」第6回集会
- 11/19 「住みよい笠岡をつくる会」市長と懇談



熱意をこめて誠心誠意の訴え。市長「誰でも署名しますよ」と市民の願いを自らが認める。

- 11/20 鳴方サンパレスでボランティア
- 11/21 一部事務組合議会「敬愛園」
- 11/23 ベイファームマラソン豚汁炊き出し
- 11/24 里庄「あやとり」ボランティア
- 11/25 「住みよい笠岡をつくる会」議会へ署名提出1万1351名

後日追加含める



「私は無理と思う(議長、副議長)」など、個人の考えを聞いているのではない。議長副議長の本来の役割は議会制民主主義の保障と十分な議論の保障だ。と強く述べた。

- 11/28 都市計画審議会
- 12/7 カブ二の仲間ミュージカル
- 12/13 同窓生と忘年会
- 12/15 「四季が丘」「ゆめゆめ」でボランティア
- 12/16 「かいらく園」でボランティア
- 12/17 建設産業常任委員会
- 12/19 人口対策特別委員会
- 12/25 『和』でボランティア
- 12/29 年末夜警激励
- 12/30 〃

お世話になりました

☆生江浜護岸背後地整備



不整地の改善

- ☆茂平県道街灯補修
- ☆旭丘西舟隠し路面補修
- ☆金浦護岸路面バリアフリー補修



誰でも安心、歩ける、走れる。

お世話になった皆さん、ありがとうございました

- ☆旭丘東地区側溝修繕
- ☆生江浜路面の沈み補修



夫の一言
入院通院の繰り返しで、妻の手伝いもできず、皆様方にもご心配をおかけしています。励ましの声をかけていただき、ありがとうございました。元気になりましたら、また頑張りますので、よろしくお願ひします。

—樋の津周明(もと山陽高校教諭)—